

II 年間指導計画

本校のめざす学校像	1 個性を伸ばす学校 2 潤いと活気のある学校 3 心のふれあう学校
-----------	--

学校教育目標	『当たり前のことが当たり前ができる生徒の育成』 ～命を大切にし、自らの未来を切り拓く生徒を育む～
--------	---

育てたい生徒像	1 ねばり強い生徒(根性) 2 礼儀正しい生徒(礼儀) 3 きまりを守る生徒(規律) 4 みずから学ぶ生徒(自主) 5 思いやりのある生徒(友情)
---------	---

いじめ対応チーム：校長 教頭 生徒指導担当 各学年主任 養護教諭
*状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ対応チーム会議 ・指導方針の確認 ・年間計画作成 職員会議 ※1	いじめ実態把握調査 ※5 → 道徳・特別活動計画に反映	生活実態アンケート ※2 個人面談・個人状況把握 ※3	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。 ～危機管理の要諦より～ 迅速性 柔軟性 応変性
5月	保護者向け啓発(ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※6	カウンセリングマインド研修 ※4 人間関係づくり 修学旅行等校外学習)	個人面談・個人状況把握	
6月	緊急対応会議の適時開催(通年)	情報教育講演会 ※7 全校一斉学習 ※8	生活実態アンケート	
7月			生活実態アンケート 家庭訪問 ※11 三者面談 個別面談 個人状況把握	
8月				
9月	いじめ対応チーム会議 ・情報共有 職員会議	カウンセリングマインド研修	生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	
10月		学級・学年づくり (文化祭)	個人面談・個人状況把握	
11月	保護者向け研修会 ※6	※10 (トライやるウィーク)		
12月		人権教育研修 ※9	三者面談・個人状況把握	
1月	いじめ対応チーム会議 ・情報共有 ・3学期計画作成 職員会議		生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	
2月		情報モラル研修 ※9		
3月	いじめ対応チーム会議 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正 いじめ実態アンケート送付	次年度に向けクラスづくり		

※1 職員会議
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2 生活実態(いじめ)アンケート
年度当初、1学期末、各学期始めに、いじめの実態把握のアンケートを実施する。

※3 個人面談・個人状況把握
年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。

※4 カウンセリングマインド研修
ロールプレイ等、研修の実施の工夫するなど効果的な研修を実施する。

※5 いじめ実態把握調査
生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。

※6 保護者向け啓発／研修
ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。

※7 情報教育講演会
昨今のソーシャルネットワークサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。

※8 全校一斉学習
情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を含み、正しい情報機器の使い方を話し合う。

※9 人権教育研修／情報モラル研修
人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。

※10 学級・学年づくり／人間関係づくり
1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについて学級活動等で学習するとともに、様々な体験活動を実施する。

※11 家庭訪問
全学年で、担任や学年グループ、部活動顧問が、夏季休業中に家庭訪問を行う。